

(様式 2-1)

令和6年度三重大学国際交流事業（学生海外派遣）実施報告書（学内版）

1. 申請部局

学部・研究科名等：大学院生物資源学研究科

事業担当者の職・氏名：教授・中島千晴

内線電話番号：9638

電子メール：chiharu@bio.mie-u.ac.jp

2. 事業の名称（20字以内，別に副題を付けても良い）

学部教育初期における海外実習派遣

副題：生物資源総合科学コース学生レイトスペシャライゼーションのためのサマ ーコ
ース派遣

4. 事業の取組結果

(1) 事業概要（簡潔に事業全体の概要がわかるように記述してください）

生物資源総合科学コースはレイトスペシャライゼーションを特徴とし、学生は地域課題と農林水産学の基礎を1年次で学んだ後、専門を選択する体制となっている。この学部教育の初期段階にある学生を、海外の協定校で基礎的な農林水産学の実験実習を英語で実施し、また特産品や文化活動を通じたコミュニティ開発による地域課題への取り組みなどを体験させ、より良き専門の選択、今後の国際活動への動機付けとする。また派遣前後に、外国人招聘教員による講義を組み入れるなどの工夫をしている。この取り組みは JASSO 協定派遣型の補助金にも採択されている。

(2) 事業の背景・これまでの実績

生物資源総合科学コースはレイトスペシャライゼーションを特徴とし、学生は地域課題と農林水産学の基礎を学んだ後、専門を選択する。特色ある教育の一つとして、学部教育の初期段階にある学生を、国内外の地域での問題解決活動の体験を重視、より良き専門の選択の一助とするとともに、大学内、地域の国際化の先頭に立って活躍できる人材の育成も企図する。そのため海外の協定校で基礎的な農林水産学の実験実習を英語で実施し、また特産品や文化活動を通じたコミュニティ開発による地域課題への取り組みなどを体験させることとした。これまでの学部教育の後期にあたる3-4年生、大学院生でサマースクールに2回派遣し、その効果を検証してきた。その成果として、三重大学生物資源学部総合科学コースのために設計されたコースをマレーシアトレンガヌ大学と検討し、実施する事とした。

(3) 事業実施結果

生物資源学部西部資源学科生物資源総合科学コースの学生を12名16日間と16名12日間、計2回28名を派遣した。



- a. マレーシアトレンガヌ大学のバディ学生とともに; b. セティウ湿地帯における熱帯汽水域におけるフロラとファウナの観察



c) 魚類標本作製; d) 特産品加工実習



d) 特産品加工実習(石けん); e) ウミガメ保護地区における保護活動の体験



f) 魚類増殖・交配実験; g) 少数民族居住地域での特産品加工(ヤシ砂糖)の見学

(4) 事業の意義

本事業により、33名のコース学生のうち、28名をマレーシアトレンガヌ大学へ派遣した。漠然とした大学における実験実習のイメージを具現化し、英語で受講するという緊張感のなか集中して取り組むことが出来た。また、日本語を母語としない人たちとのコミュニケーション、異文化との交流に対して大きく障壁を下げられたと思う。

(5) 事業の発展性

次年度は、海外の他大学も参加予定であり、複数国の学生が同一のプログラムに参加する事になる。

(6) 中期目標・中期計画における位置づけ

中期目標

I 教育研究の質の向上に関する事項,

2 (2), (3), (8), (9)

中期計画

I 2 (8)-1,

(7) その他

なし

令和6年度三重大学国際交流事業（学生海外派遣）実施報告書
（一般公開：日本語版）

生物資源総合科学コースは入学後に専門的に学ぶ分野を決定するレイトスペシャライゼーションを特徴とします。学生は地域課題と農林水産学の基礎を1年次で日本語や英語で学びます。この生物資源学部における教育の初期段階にある学生を、海外の協定校で基礎的な農林水産学の実験実習を英語で受講し、特産品や文化活動といったコミュニティ開発による地域課題への取り組みなどを体験します。これにより、自らが学ぶ2年次からの専門(コース)の選択や、今後の国際活動への動機付けとすることを目標に活動します。

令和6年度三重大学国際交流事業（学生海外派遣）実施報告書
（一般公開：英語版）

The integrated sciences course in bioresources is characterized by late specialization, in which students decide on a specialized field after enrollment. Students study regional challenges and the basics of agronomy, forestry, and fisheries in Japanese and English for one year. This program aims to motivate students who are in the early stages of their education in the Faculty of Bioresources with the basics at an overseas partner university so that they can independently study, select a course from their second year onwards, and pursue international activities in the future.